



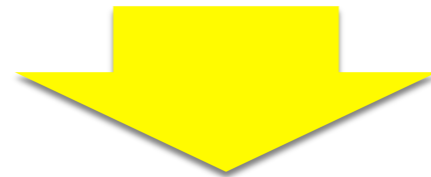
Vリーグ機構記者会見

# Vの構造改革

～ バレーボールのスポーツビジネス化に向けて ～

2016年9月20日(火)

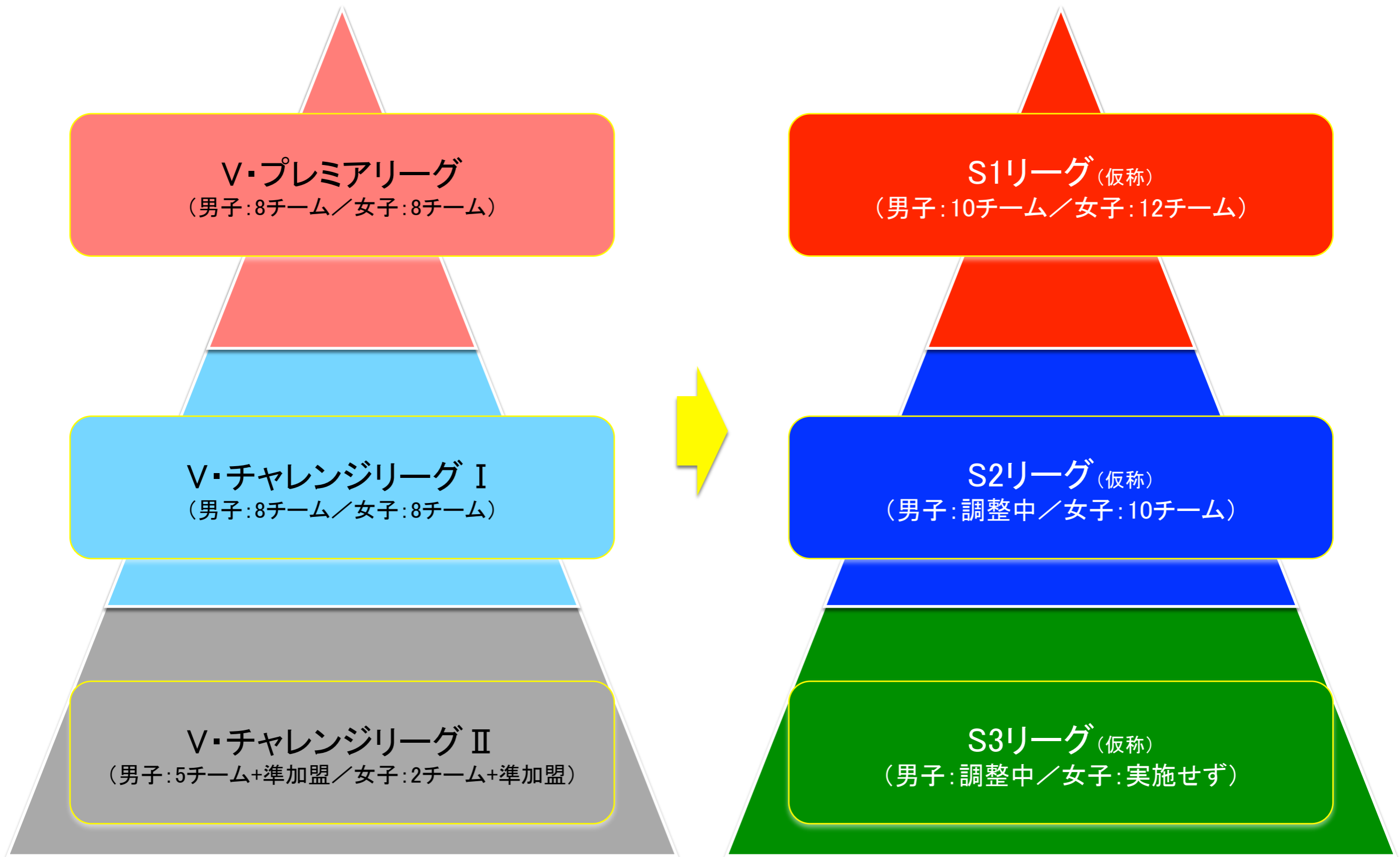
# 会長再任記者会見



Vリーグ再生宣言

# スーパーリーグ構想

# スーパーリーグの構成



# スーパーリーグが目指す姿

Vリーグ並びにバレーボールの  
価値を更に高めていく!!

世界につながるリーグ  
世界一のバレーボールリーグへ



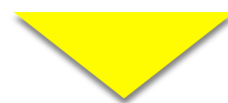
バレーボールを  
日本のトップアリーナスポーツへ



# スーパーリーグが目指す姿

Vリーグ並びにバレーボールの  
価値を更に高めていく!!

チームが主役となり、ファンを楽しませ、  
会場を盛り上げていく



全ての試合でアリーナが満員になる  
ファンファーストなリーグへ

# バレーボールのスポーツビジネス化

## 国家戦略としてのスポーツのビジネス化

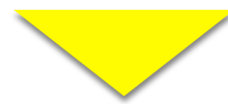
- 従来の概念にとらわれず、「**スポーツで稼ぎ、その収益をスポーツに還元する**」システムを実現する。
- 負担（コストセンター）から**収益（プロフィットセンター）**へ。
- 人々のニーズにこたえる付加価値あるサービスを提供し、カスタマー・エクスペリエンスを高める**スポーツ産業の振興を促す。
- スポーツ産業の潜在成長力を顕在化させ、我が国の基幹産業へ。**

# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

Vリーグ機構／チームが一枚岩となり  
「Vの構造改革」を実現

スーパーリーグへの移行



バレーボールの「事業化」を推進

# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

チームは試合運営を通して  
ビジネス化を推進

Vリーグ機構は事業会社を通して  
ビジネス化を推進

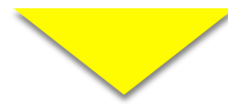
企業・地域・チームの三位一体で  
地域経済に貢献できる体制整備



# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

開催権をチームへと譲渡



チームが主体となり試合を運営

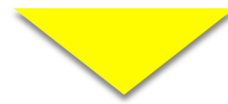
- 試合の運営に係る全てをチームが実施
- ホームゲームの収支は原則ホームチームが管理

チームが自ら稼ぎ、収益を次へと還元

# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

開催権をチームへと譲渡



一定数のホームゲームを開催

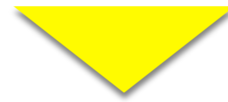
- 開催曜日などにはある程度の自由度を持たせる
- 会場装飾、演出でファンを魅了する環境を構築

チームが独自の色を出しながら試合を構築

# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

開催権をチームへと譲渡



自治体と連携し、地域に根付いた活動

- 自治体による支援の確約を得たチームが参加
- 地域に密着した活動でファンの育成を促進

憧れのチームとしてバレーボールの魅力を発信

# バレーボールのスポーツビジネス化

## バレーボールのスポーツビジネス化へ

開催権をチームへと譲渡

チームが主体となり試合を運営

一定数のホームゲームを開催

自治体と連携し、地域に根付いた活動

正のスパイラルを構築

# スーパーリーグの概要

2018／19シーズンよりスーパーリーグへと移行

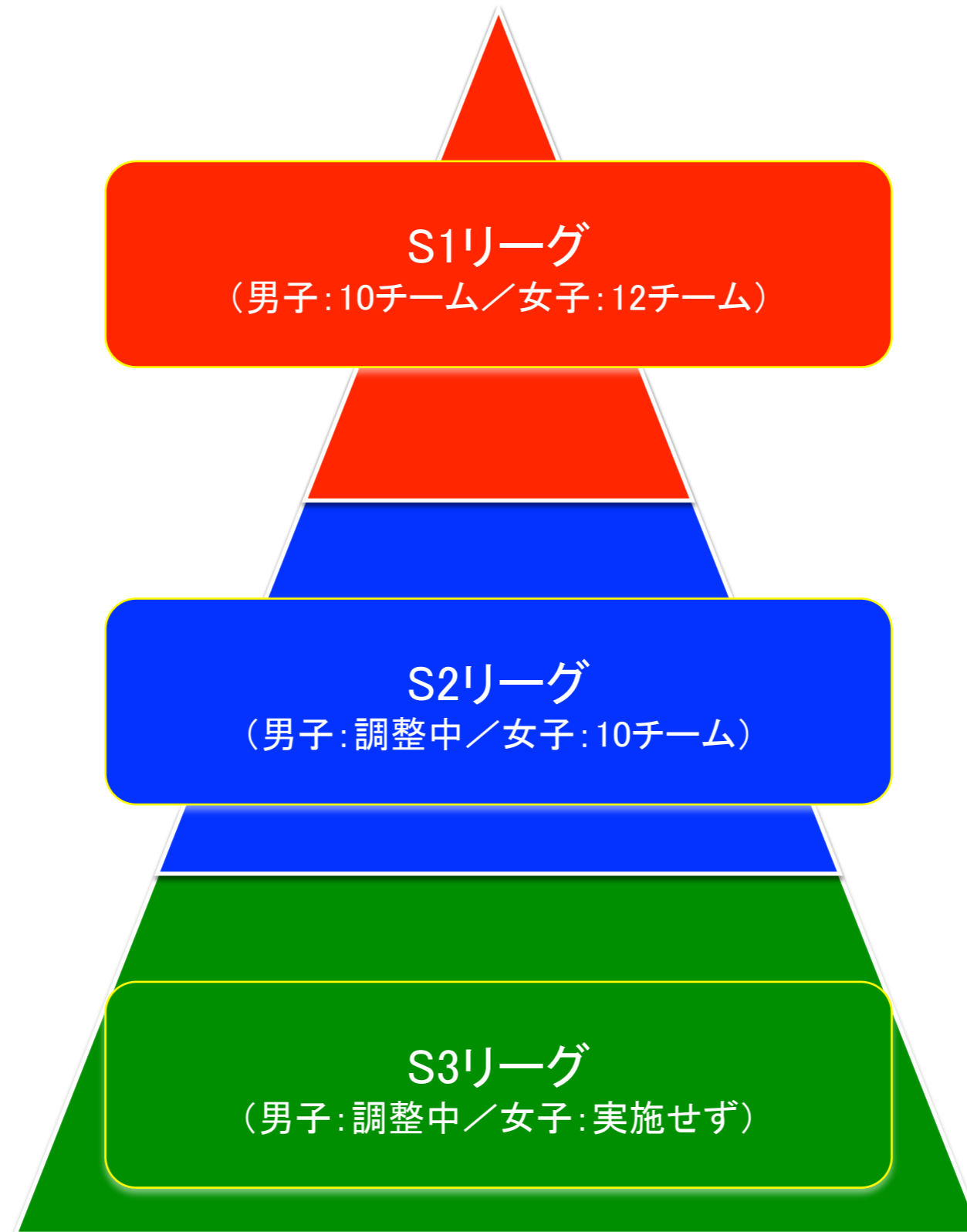
男子と女子の特性を活かした大会運営方式の採用

開催形式に自由度を持たせた一定数のホームゲーム開催

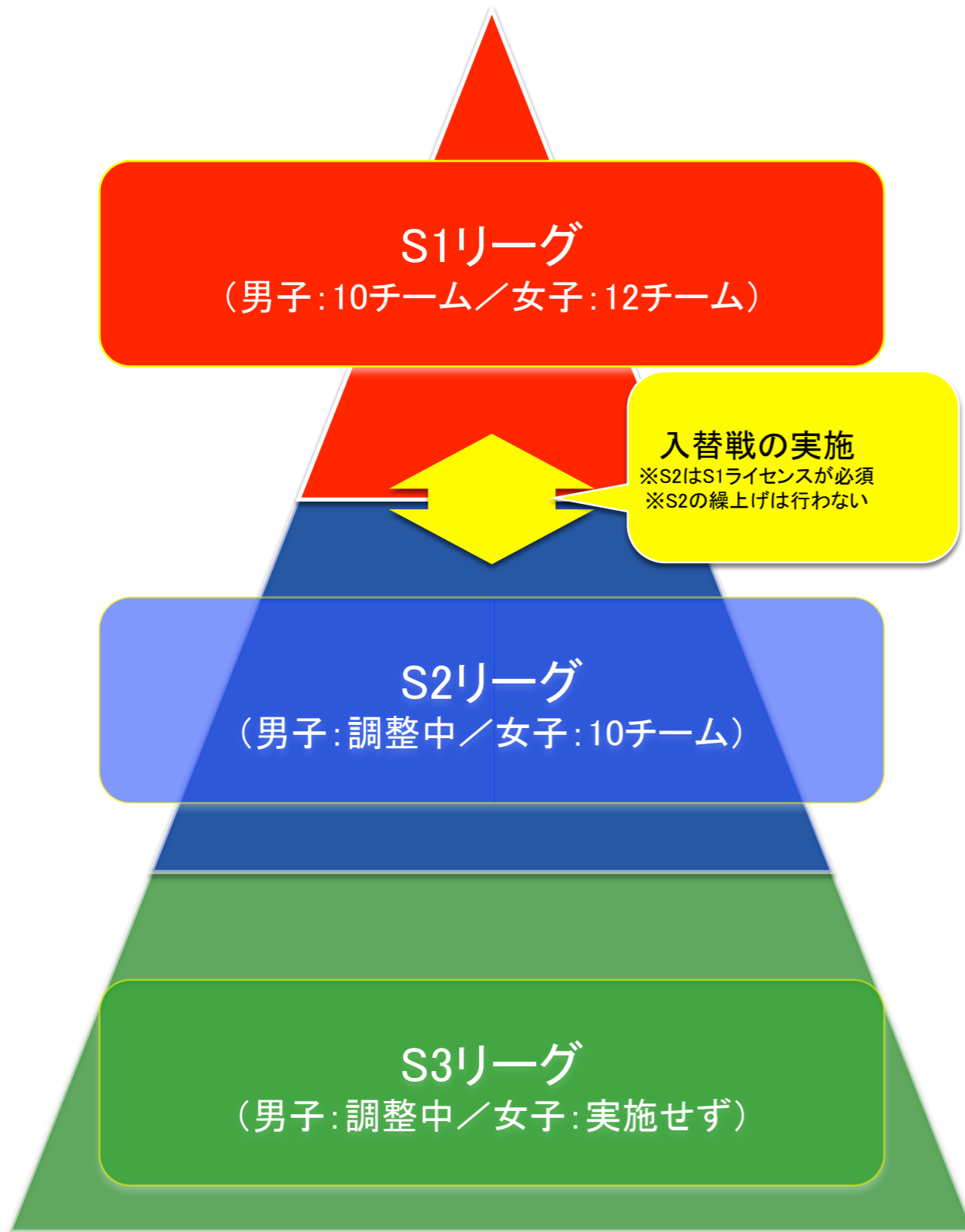
自治体によるチーム支援の確約の取り付け

チーム名に企業名／ホームタウン名の使用可能

# スーパーリーグの構造



# スーパーリーグの構造



V・プレミアリーグ以上の  
高い競技レベルを目指す

男子

S1ライセンス保有10チーム

試合開催

ホームゲーム平均3,000人以上収容

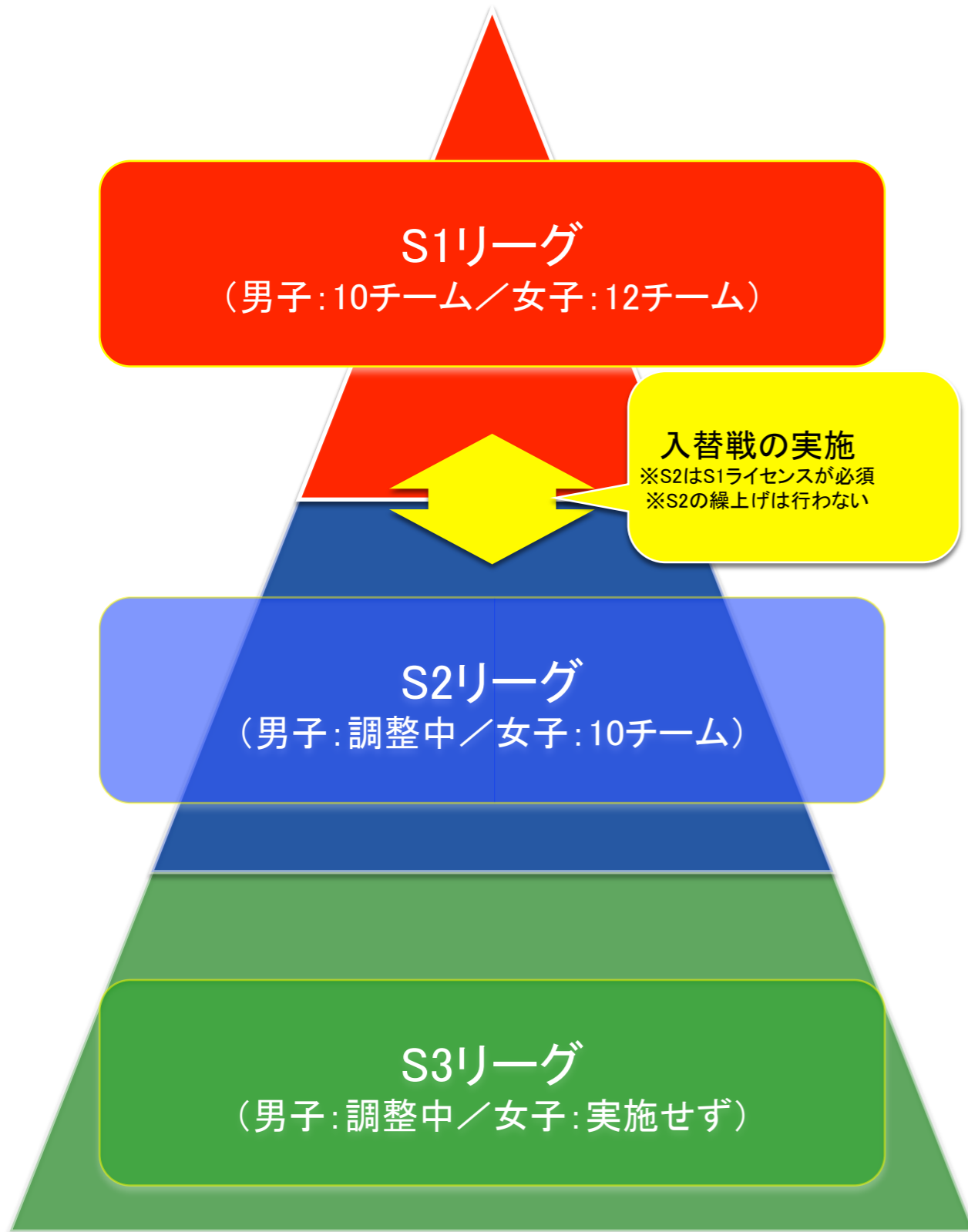
レギュラーラウンド: 27試合

ファイナル6: 5試合

ファイナル3: 2試合

ファイナル: 2試合

# スーパーリーグの構造



V・プレミアリーグ以上の高い競技レベルを目指す

男子

S1ライセンス保有10チーム

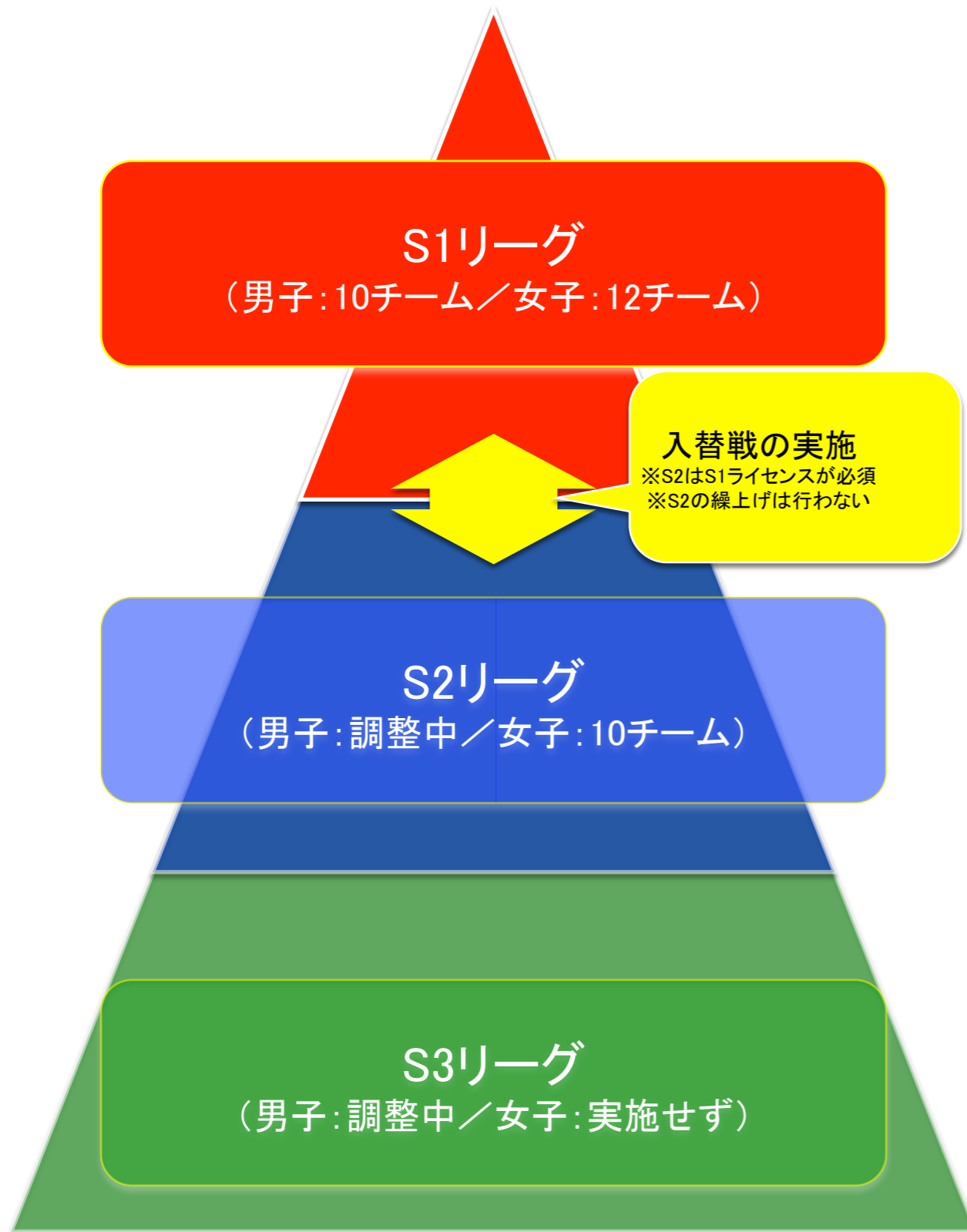
試合開催

ホームゲーム平均3,000人以上収容

A会場	B会場	C会場
1日2試合 (4チーム) ホームゲーム + 1試合	1日2試合 (4チーム) ホームゲーム + 1試合	1日1試合 (2チーム) ホームゲーム



# スーパーリーグの構造



V・プレミアリーグ以上の  
高い競技レベルを目指す

女子

S1ライセンス保有12チーム  
(東:6チーム/西:6チーム)

試合開催

ホームゲーム平均3,000人以上収容

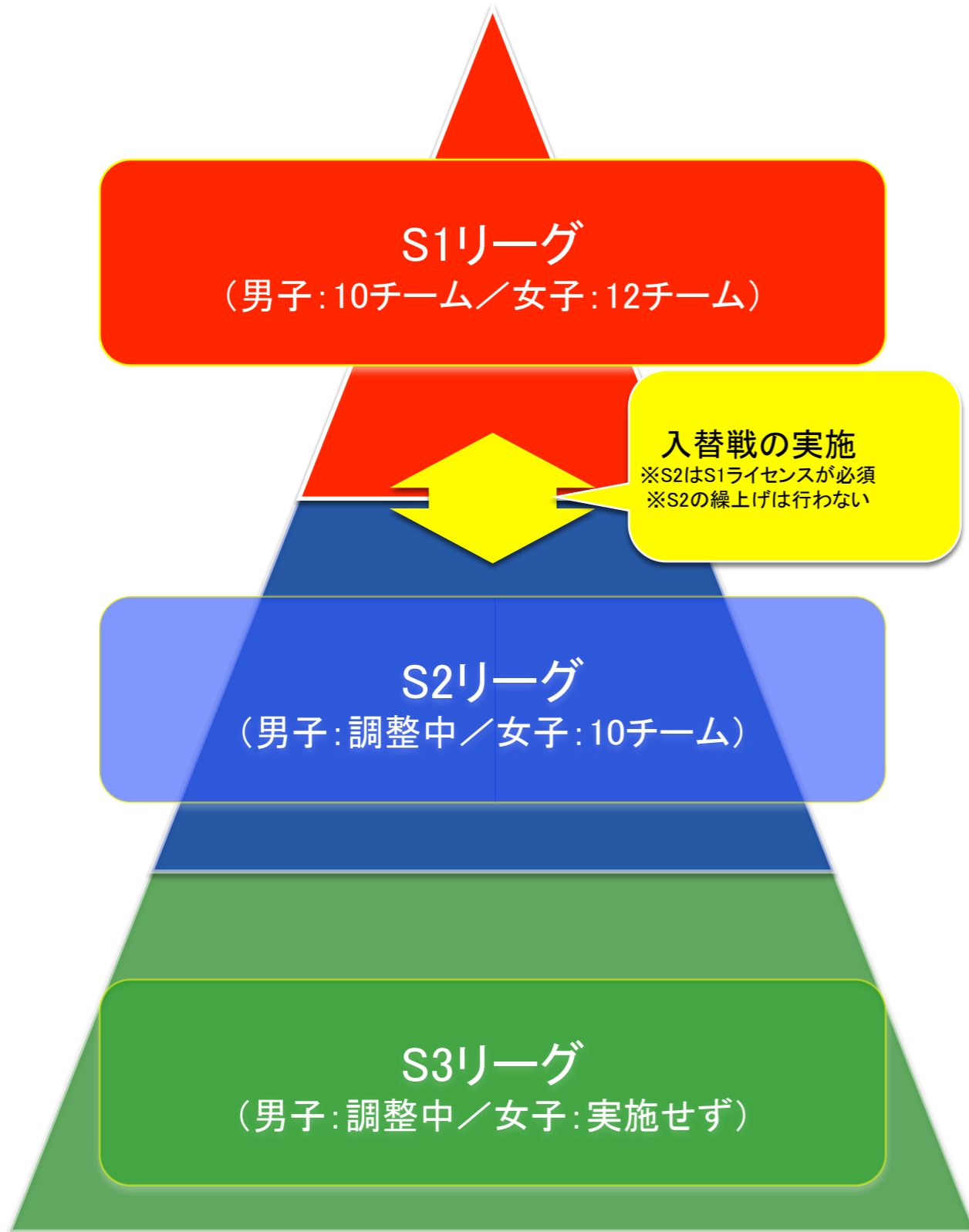
レギュラーラウンド:21試合  
(内6試合が交流戦)

ファイナル8:7試合

ファイナル3:2試合

ファイナル:2試合

# スーパーリーグの構造



V・プレミアリーグ以上の高い競技レベルを目指す

女子

S1ライセンス保有12チーム  
(東:6チーム/西:6チーム)

試合開催

ホームゲーム平均3,000人以上収容

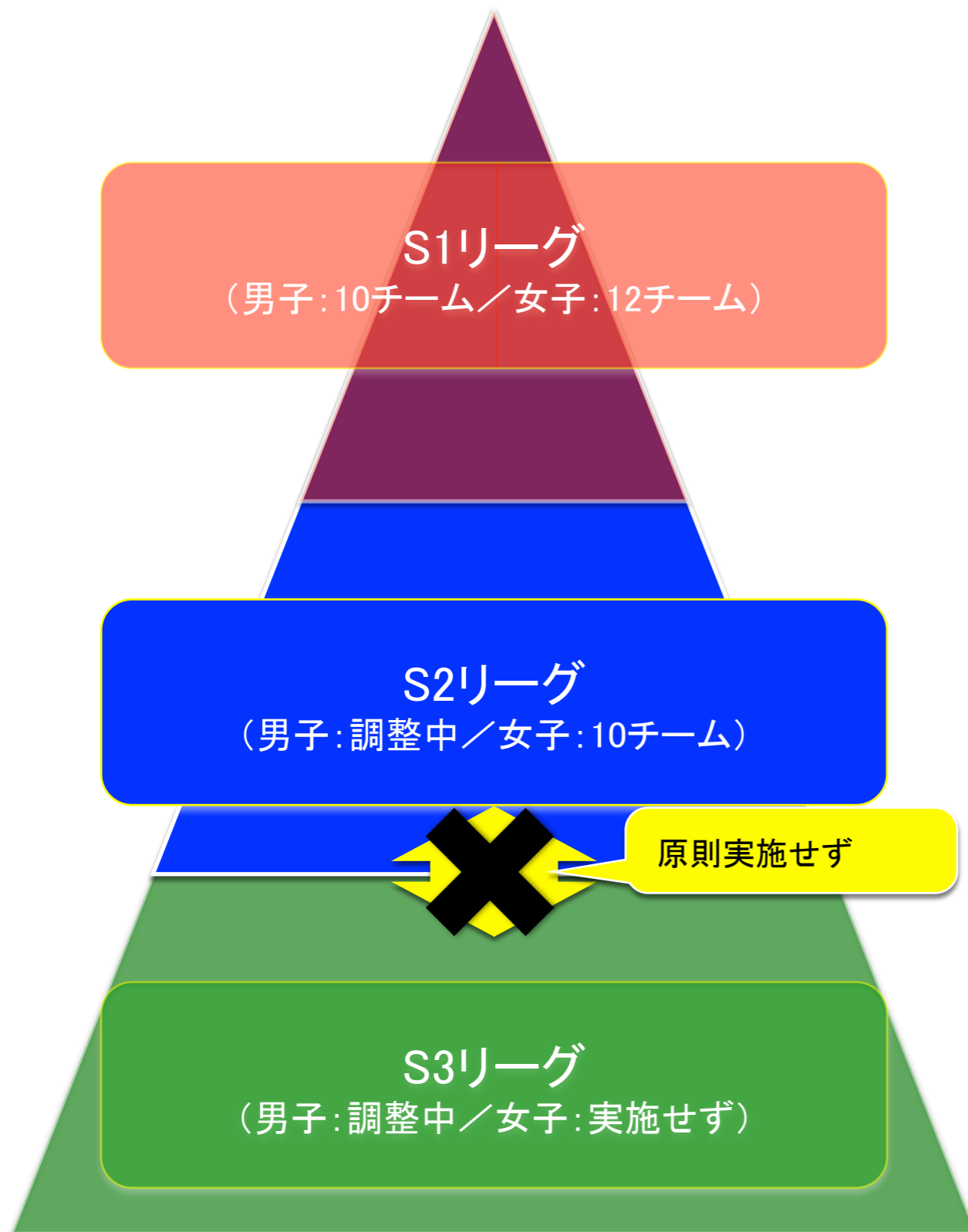
**東A会場**  
1日2試合(4チーム)  
ホームゲーム+1試合

**西C会場**  
1日2試合(4チーム)  
ホームゲーム+1試合

**東B会場**  
1日1試合(2チーム)  
ホームゲーム

**西D会場**  
1日1試合(2チーム)  
ホームゲーム

# スーパーリーグの構造



S1リーグを目指す

男子

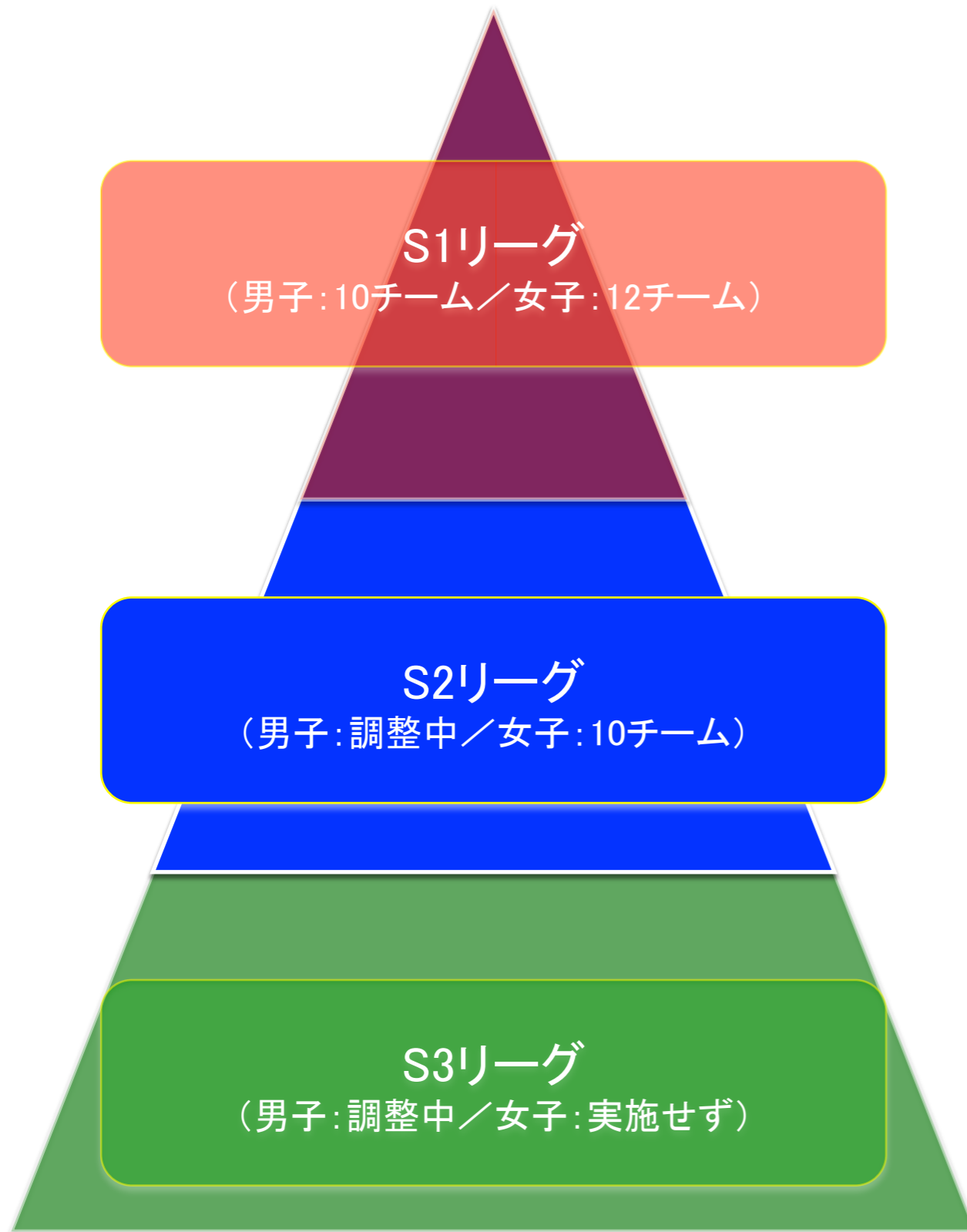
S2ライセンス保有(調整中)

試合開催

ホームゲーム平均1,500人以上収容

試合数等は検討中

# スーパーリーグの構造



S1リーグを目指す

女子

S2ライセンス保有(10チーム)

試合開催

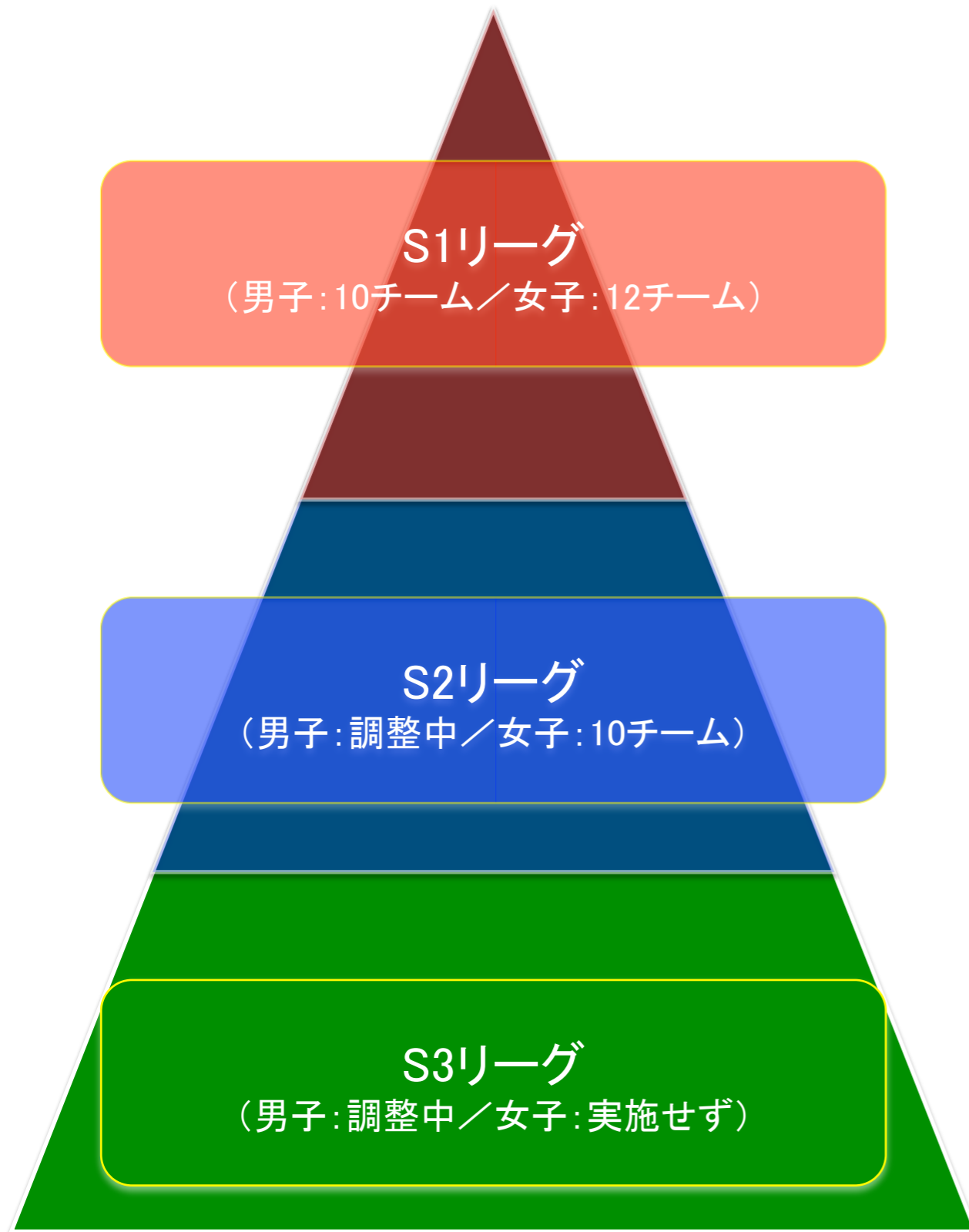
ホームゲーム平均1,500人以上収容

●レギュラーラウンド:18試合

●ファイナル6:5試合

●入替戦出場決定戦:1試合

# スーパーリーグの構造



地域に密着し底辺拡大を担う  
状況が揃えばS1・S2を目指す

男子

S3ライセンス保有(調整中)

試合開催

ホームゲーム平均750人以上収容

試合数等は検討中

# スーパーリーグライセンス制度(要約)

	S1リーグ	S2リーグ	S3リーグ
監督資格	上級コーチ	コーチ	コーチ
チーム名	名称／ロゴの商標取得 企業名／ホームタウン名の使用可		
地域のバックアップ	行政がチームの取り組みを支援する姿勢を 文書で具体的に示す		
ジュニアチームの保有	保有もしくは教室		できれば保有 もしくは教室
練習アリーナ	原則、自前のアリーナを保有する。 または優先的に使用できる体育館を確保できる。		—
ファンクラブ	一般に開放されたファンクラブ またはファンとの交流組織ないしは交流機会		
チームマスコット	必須		できれば保有
保有選手数	14名以上(外国籍選手含む)		12名以上 (外国籍選手含む)
現場スタッフ	専任		兼務可能
フロントスタッフ	専任(兼務可能)		

# スーパーリーグでの変更点

	V・プレミアリーグ	スーパーリーグ (S1リーグ)
開催権利譲渡先	都道府県バレーボール協会	ホームチーム
自治体との連携	なし	自治体によるチーム支援 確約の取り付け
チーム名	企業名＋クラブ名	企業名・ホーム地域名 使用可能
試合形式	一般開催方式(主流)	一定数のホームゲーム開催 の義務化
外国籍選手	1名	アジア枠の採用を検討し、 アジア戦略を計画
試合数	30試合(MAX)	男子36試合(MAX) 女子32試合(MAX)
チーム数	8チーム	男子10チーム 女子12チーム

# スーパーリーグ開催に向けてのスケジュール

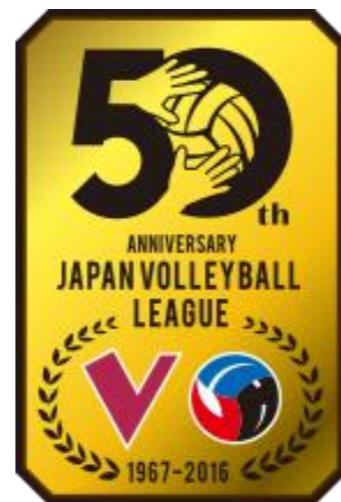
月	内容
5月31日	スーパーリーグ立ち上げ 記者発表会
6月～8月	小委員運営にて運用・規約等改定案の検討、正式名称等の検討
8月～9月	ライセンス審査・確定
9月28日	Vリーグ機構社員総会にて定款の改定
2017年9月～ 2018年2月	運用・規約等改定案の確定、理事会にて審議・承認
2018年3月	2017/18Vリーグ順位確定・カテゴリー参加チーム確定
4月～9月	スーパーリーグ新委員会立ち上げ、処々決定
10月	開幕直前イベント
10月／11月	スーパーリーグ開幕



# スーパーリーグの将来像 (S1リーグ)

	リーグ出発点 (2018年～)	中期目標 (東京五輪後～)	長期目標 (2028年～)
収容観客数	3,000名以上	3,500名以上	5,000名以上 体育館を保有
ホームゲーム数	年間5～8試合	年間10試合以上	年間30試合以上 完全ホーム&アウェイ
チーム数	男子10チーム 女子12チーム	12チーム以上 東西カンファレンス に分け開催	各エリアに1チーム以上
年間総入場者数	50万人以上	70万人以上	100万人以上
海外戦略	アジア選手枠導入検討 アジアの1カ国以上で 試合映像を配信(販売)	3カ国以上の国で 試合映像を配信(販売)	5カ国以上の国で 試合映像を配信(販売)
世界一のバレーボール リーグに向けて	アジアクラブ選手権 毎年3位以上に入賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アジアクラブ選手権 常に3位以上に入賞</li> <li>●世界クラブ選手権 出場権獲得</li> </ul>	世界クラブ選手権に 毎年チームを派遣し、 ベスト4以上に入賞

# 日本リーグ創設から50年



そして、  
次の50年を笑顔で迎えるために…。

スーパーリーグという新たな装いで、  
バレーボールの価値をより普遍的なものへ